総社市役所
人権・まちづくり課

譚　俊偉
TAN　SHUNWAI

令和６年度　国際フォーラム

総社市の紹介と自己紹介

・総人口69,925人, 外国人の割合2.78%(2025.1.1現在)

・国籍別上位5カ国

ベトナム	54.3%
ブラジル	11.6%
フィリピン	7.8%
中国	7.6%
インドネシア	7.0%

・2009年10月に外国人窓口を設置
通訳を1名（英語・ポルトガル語・スペイン語対応）配置
中国語通訳を１名増員（２０１４年4月），ベトナム語通訳を１名増員（２０１９年４月）

・2010年度から外国人集住都市会議へ加入

外国人集住都市会議について

- **２００１年設立**
- **会員都市　１２都市**（2025.2.1現在）

群馬・長野・静岡ブロック（７都市）	愛知・三重・岡山ブロック（５都市）
太田市（群馬）・伊勢崎市（群馬）・大泉町（群馬）・前橋市（群馬※R６年度はオブザーバー参加）・上田市（長野）・飯田市（長野）・浜松市（静岡）	豊橋市（愛知）・豊田市（愛知）・小牧市（愛知）鈴鹿市（三重）・総社市（岡山）

- **会議趣旨**

外国人集住都市会議は、外国人住民に係る施策や活動を進めている都市及び同地域の国際交流協会をもって構成しています。各都市の状況の情報交換等を行うなかで、地域で顕在化している様々な問題の解決に積極的に取り組むだけでなく、まちづくりの担い手やまちを活性化させる貴重な人材と捉え、多文化共生を推進していくことを目的としています。

また、外国人住民に係る諸課題は広範かつ多岐にわたるとともに、就労、教育、医療、社会保障など、法律や制度に起因するものも多いことから、必要に応じて首長会議を開催し、国・県及び関係機関への提言や連携した取り組みを行っています。

外国人集住都市会議の活動について

令和６年度

「外国人集住都市会議 オンラインシンポジウム2024」を開催

今後の多文化共生のあり方について、会員都市及び関係省庁だけでなく、多文化共生社会の実現に取り組む企業、地域の日本語教室等、地域の第一線で活躍するキーパーソンを交えた意見交換を行った。

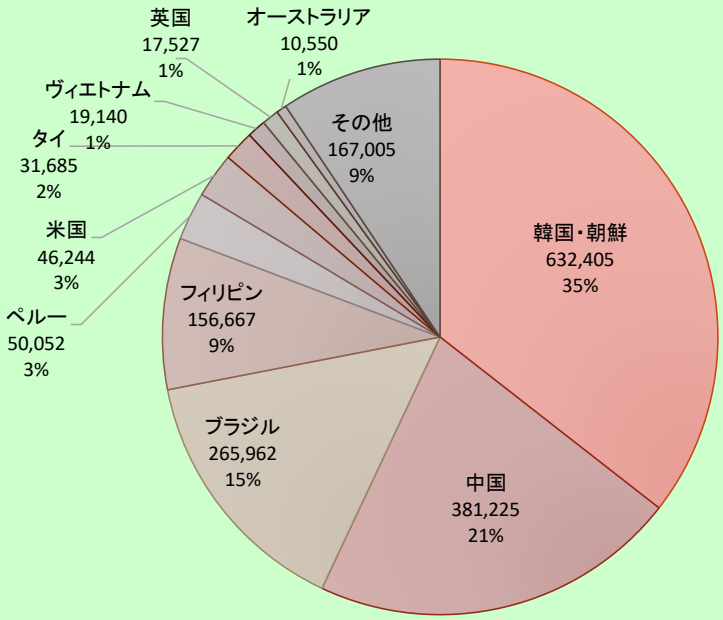
令和７年度

「外国人集住都市会議 そうじゃ2025」開催予定(11月～12月頃)

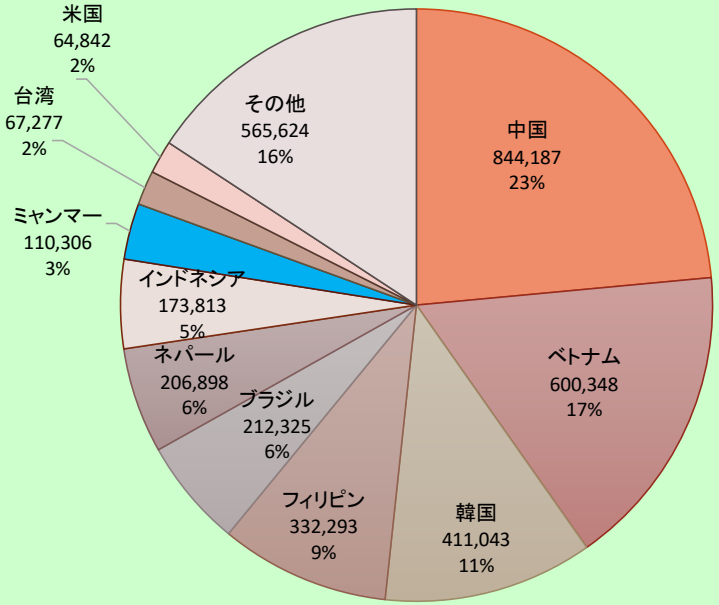
外国人集住都市会議の課題

◇在留外国人の国籍の変化に合わせた多文化共生の推進

国籍(出身地)別外国人登録者の割合(全国)※2001年



国籍・地域別在留外国人の割合(全国)※2024年6月末



出典：法務省「登録外国人統計」「在留外国人統計」

◇多文化共生を全国的に推進するため、会員都市を増加させる